

三重創生ファンタジスタ News

三重創生ファンタジスタ養成に関連した情報をお届けするニュースレターです！

津丸之内商店街の活性化に 三重大生が貢献

平成30年12月15日(土)と16日(日)の2日間、「丸之内商店街リアルすごろく」が開催されました。このイベントは津市が行うサロン事業の一つである「津丸之内サロン」と三重大学の「地方おこしサークル ジャングル」が連携して行った商店街活性化イベントです。

近年、人通りが少なくなってきた商店街で「また子供たちが元気に走り回る姿をみたい」、「商店街の関係者が一丸となって何か新しい風を吹かせたい」という想いを聞き、学生が企画に乗り出しました。商店街の道全体をすごろくのマス目とし、サイコロを振って出目の数だけ実際に商店街を歩き、ゲームを進めていきます。このすごろくに参加することで楽しみながら商店街を歩き回り、各店舗の魅力を伝えるイベントとなっていました。すごろくの引率には三重大学の「忍者部」も参加し、子どもたちを喜ばせていました。

2日間で、200人以上のお客様が訪れ、また歳末セールを実施していた店舗も多かったことから、商店街の売り上げ向上に大きく貢献し、活性化に繋がりました。

企画を担当した学生は、「自分で考えて行動すると、ちゃんと助けてくれる人がいっぱいいて、結果がついてくるということを実感しました。これが三重の魅力でもあり、社会人になっても三重県の為に貢献できる仕事をします。」と楽しそうな表情を浮かべていました。



参考：<https://www.tsu-marunouchi.com/cont2/101.html>

環境ISO学生委員会とMSFCが 協働で「みえ環境フェア」へ

平成30年12月16日(日)のみえ環境フェア2018に環境ISO学生委員会と三重創生ファンタジスタクラブが協働でブースを出展しました。

みえ環境フェアは三重県地球温暖化防止活動推進センターが主催しており、産官学民全員で地球環境について考えるイベントです。三重創生ファンタジスタクラブが拠点としている津市美杉町の木材を使って、キーホルダーの制作を行ったり、どの樹種がどのような使われ方をしているのかというクイズを通して木育に力を入れました。

今回、協働で出店したブースには72名の方が体験に来てくださり、それぞれ思い思いのキーホルダーを作りながら木材や森林について、たくさん学んで頂きました。スタッフとして参加した学生は「今後も様々な団体、自治体などと連携し、活動のダイバーシティを意識したい」と、今後の可能性を語っていました。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students>

三重短期大学と三重大学が連携し 1日限定カフェOPEN

平成30年12月16日(日)に、津市中心市街地活性化プロジェクトとして、三重短期大学の生活科、三重大学教育学部、津市が連携し1日限定のカフェ「ほのぼ～の」をオープンしました。

場所は津市センターパレスの5Fのホールを使用し、三重短期大学生はキッチンで調理を担当し、三重大学生はホール接客や広報を担当しました。2か月前から入念に打合せを行い、試食や、マニュアル制作など、細部まで綿密に企画を行いました。食材には特に気を配り、できる

限り津市の物を使用し、地産地消と地域物産のPRにも力を入れました。広報は新聞やラジオなどのメディアだけでなく、チラシの配布やSNSなどで広く呼びかけました。

オープン当日は11時開場にもかかわらず、30分以上前からたくさんのお客様が並んでおり、14時ごろには完売していました。お客様は子供連れの家族からご高齢の方まで広い年齢層でもとても賑わっていました。各メニューはリーズナブルながら高い仕上がりで、ケーキはしっとりしながらものど越しが良く、上品な味わいでした。

来店されたお客様は「今日だけと言わず、お店としてずっとやってほしい」「とっても美味しくて幸せな気分になりました」と語っていました。また携わった学生達は「準備や企画は大変でしたが、それが形になりたくさんの人たちに喜んでいただけて、とてもうれしく思います。先生や関係者の方々にも感謝しています」と大きな達成感を感じていた様子でした。



参考：<http://www.mie-u.ac.jp/topics/kohoblog/2018/12/post-1717>

イオンモール津南で三重創生ファンタジスタ学生が津ぎょうざのPR



三重創生ファンタジスタクラブとイオンモール津南、津ぎょうざPR団体と共に、津ぎょうざのPRを行いました。津ぎょうざは全国B級グルメの祭典でも3位になるほどの人気グルメですが、三重県内でも知らない人が数多くいます。津ぎょうざの発祥は、小学校の給食のメニューで、直径15cm以上の皮で包んで油で揚げた巨大な餃子です。

これまででも、津ぎょうざは様々な任意団体によりPR活動が行われてきましたが、今回はイオンモール津南がニューオープンしたことをきっかけに、イオンモールの地域貢献事業として、津ぎょうざをPRする団体「津ぎ

ょうざ小学校」の皆様と一緒に津ぎょうざのPR活動に取り組みました。津ぎょうざを食べるのは初めてという学生も多く、津ぎょうざの魅力を味わいながら、ご当地キャラクターと共にイオンモール店内や屋外の公園でたくさんの方にPRし、食べてもらうことが出来ました。

活動に参加した学生からは、「津には多くの名物があることを改めて実感しました。もっとたくさんの方に知ってもらえたら嬉しいです。」といった意見が聞かれました。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/30blogs>

三重創生ファンタジスタによる三重の魅力伝えるカフェがオープン！

三重創生ファンタジスタクラブのメンバーが、三重の魅力伝えるCAFÉ & Bar「森の王様Tapio」をオープンしました。

このお店は、「三重の魅力を発信したい。三重を元気にしたい。」という学生の強い思いがきっかけで始まりました。店舗は三重大学病院すぐ隣の飲食店通りにあり、大学生や大学関係者の方々に三重県魅力を発信することを目的としています。

メニューには三重県内で生産されている農産物や調味料を使用した料理や飲み物がたくさん用意されており、気軽に「うまし国三重」を堪能できます。なかでも獣害に苦しむ地区の猟師さんから仕入れた鹿肉のジビエ料理など、珍しいものもリーズナブルに提供しています。店内は三重県産の杉と檜をふんだんに使用した内装となっていて、オシャレで落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

お店をオープンするにあたって、ヒトに「ま三重」をコンセプトに、農産物や加工品、木材などはすべて学生自身が自分の足で地域の方と交流し、数多くの方に支えられて実現しました。今後も、店舗として留まるのではなく、この機会を最大限に活かし、「交流の場の創出」や「イノベーションが起こる仕組み作り」、「三重の新たな魅力の掘起こし」に挑戦していきたいと語っていました。



参考：<https://mori-tapi.com/>

三重創生ファンタジスタクラブ 新年あけまして最初の活動



新年あけましておめでとうございます。三重創生ファンタジスタクラブの最初の活動は、拠点にしている美杉の空き家を活用した餅つきで幕を開けました。平成31年1月6日（日）に行い、留学生や他団体のメンバーとの交流を兼ねて楽しみました。

餅米はかまどと蒸籠を使用し、自分たちで火を起こして蒸しました。使われなくなった空き家でも、工夫次第で様々な事が出来ることがわかり、古民家で暮らす魅力を伝えるためのイベントを津市地域振興課と協働で進めていく企画の方向性を固めました。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chuiki/blogs-by-students>

三重創生ファンタジスタ認定授業で 志摩市とゴマサバの商品開発！

1月21日（月）、三重大学教育学部家政教育コースの学生12名が取り組んだ、志摩市の未活用魚の加工品開発についての発表会が行われました。

この取り組みは、三重創生ファンタジスタ資格認定科目である「食品材料学」において、教育学部家政教育講座の磯部 由香教授、平島 円教授と志摩市との共同研究「健康食材活用調査」の一環として、志摩市の支援を受けて実施しました。

「三重創生ファンタジスタ」は、三重大学が、三重県と県内の高等教育機関、企業と連携して行っている「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の取り組みで、地域の課題（食と観光、次世代産業、医療・健康・福祉等）に対して主体的に取り組める人材を育てる事を目標としています。対象となる科目6単位または12単位以上を修得し、各高等教育機関で定

められた手続きをする事で、資格が認定されます。

学生らは、3、4人のチームに分かれ、志摩市の未活用魚ゴマサバを使用して、「サバのキーマカレー」、「サバチップス」、「ゴマサバそぼろとかぼちゃのあんかけ」、「チーズinサババーグ」、「食べるゴマサバラ油」といった個性豊かな加工品を試作し、それぞれのレシピのアピールポイントを発表しました。

続いて試作品の試食が行われ、「魚の臭みが全くない」「どれも美味しい」といった声が聞かれました。

また、参加いただいた志摩市の職員の方からは「そのまま給食に使えるようなメニューもあり、とても食べやすかった」「ミンチはとても食べやすいが、もっと魚としての良さを出せると良い」とコメントがありました。



参考：<https://www.instagram.com/igakumihimo0903/?hl=ja>

三重ラーニングジャーニー#3 が開催されました



三重県の魅力的な産業を学ぶ、三重を知る旅「三重ラーニングジャーニー」（全3回）。

平成30年12月1日（土）に、第3回 バスで巡る伝統産業「伊勢型紙」と「伊賀くみひも」を実施しました。

今回は三重県の伝統産業である「伊勢型紙」と「伊賀くみひも」を学ぶ旅に出かけました。

留学生も含めて10名が参加し、伝統産業の厳しい現状や課題、近年の新たな動き、今後の展望などについて、体験も交えて学修しました。

「伊勢型紙」は、鈴鹿市伝統産業会館を訪問し、理事長から伊勢型紙の歴史や現在の状況についてお話を聞いた後、実際の型紙を使った葉の型抜き体験をしました！

「伊賀くみひも」は、伊賀伝統伝承館伊賀くみひも組匠の里を訪問し、伊賀くみひもの第一人者にお話を聞き、キーホルダーやプレスレッドの制作体験をしました。制作体験では、最初は少し苦勞していましたが慣れるとスピードアップして、インストラクターの方からお褒めの言葉をいただきました！

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/learning-journey>

COC+オリジナル授業「三重の産業」 で井村屋グループ(株)会長が登場

平成30年12月5日(水) 教養教育校舎にて、後期開講授業「現代社会理解特殊講義(三重の産業)」のゲストスピーカーとして、井村屋グループ株式会社の代表取締役会長(CEO) 浅田剛夫氏に、「井村屋の独創性と多様性」というテーマで、ご講義いただきました。

井村屋の歴史や経営の考え方、戦略などをお話いただき、48名の受講生が熱心に耳を傾けていました。

質疑応答では、小豆の安定確保や経営理念などに関する質問に丁寧にご回答いただきました。

また、新商品のスポーツようかんを学生に配布いただき、大変好評でした。

一般公開ということもあり、会場からは様々な質問が飛びかいました。留学生からは文化の違いから理解が難しい考え方だと言う意見がありましたが、浅田会長は一つ一つ丁寧に回答と説明をされ、受講生は得心がいった表情を浮かべていました。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/industry-mie2018.12.5>

三重創生ファンタジスタの養成は

下記の事業協働機関とともにを行っています

【高等教育機関】 四日市大学、四日市看護医療大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿大学、三重県立看護大学、皇學館大学、ユマニテク短期大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、三重短期大学、鈴鹿工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校

【自治体】 三重県

【企業(50音順)】 (株)アーリーバード、ICDAホールディングス(株)、(株)医用工学研究所、(有)オズ海島遊民くらぶ、(株)サン浦島、(有)深緑茶房、(株)ZTV、大王運輸(株)、中外医薬生産(株)、辻製油(株)、(株)ドリームエージェント、(株)中村製作所、日本土建(株)、(有)野瀬商店、橋本電子工業(株)、(株)ハツメック、速水林業、万協製菓(株)、

(株)光機械製作所、(株)百五銀行、(株)百五総合研究所、(株)ヒラマツ、扶桑工機(株)、(株)前田テクニカ、

(株)マサグループ本社、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中小企業家同友会、三重県農業協同組合中央会、(株)三重ティーエルオー、三重テレビ放送(株)、(株)メディアサボジャパン、(一社)わくわくスイッチ

エースセミナー

1月の4週に渡り、エースセミナーを実施いたしました。前半は先輩社会人から様々な経験談やアドバイスをお聞きし、後半は主体性開発メソッド「タクナル」を使ったワークショップをNPO法人Mブリッジ協力の下、実施いたしました。

企業・行政・NPO・農協など、様々な立場で地域に貢献する仕事に就かれてるゲスト講師をお呼びして、学生時代のことや現在の仕事に至る経緯、やりがいや今後の展望などを伺いました。皆さん異口同音に、学生時代よりも現在の方が勉強されていて、社会人においても学び続ける重要性を説かれていました。

後半のワークショップにおいては、様々なプロジェクトにおける企画会議を模擬的に実施する体験を通じて、他者と意見を交えながら優先順位をつけて実現可能性を高めるといった方法を学んでいきました。一連のプロセスを通じて、独りよがりではない他者から共感される考え方や対話の仕方を学びました。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/events/ace-seminar201801info.html>

プレミアムエースセミナー

平成30年12月19日(水) 環境・情報科学館(メープル館)1階にて、「プレミアムエースセミナー」が開催され、企業7社が出席、学生35名が参加しました。詳細は下記のリンク先をご覧ください。

参考：<http://www.mie-u.ac.jp/topics/kohoblog/2018/12/post-1725.html>

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」

地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタの養成
国立大学法人三重大学 地域人材教育開発機構

<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/>